61 農業関係試験研究国立研究開発法人の機能強化

【令和6年度予算概算要求額 2,519(575)百万円】

く対策のポイント>

スマート技術等の新技術について、農業研究の中核を担う**農研機構を中心に産学官の連携を強化して**開発を進めるため、研究連携の基盤となる農研機 構の有する知見や研究手法・ノウハウ等を**効果的に活用することが可能となる施設等の整備**を行い、人口減少下においても生産水準が維持できる**生産性** の高い食料供給体制の確立を目指します。

く事業目標>

産学官連携の強化による研究開発の推進、我が国の優良な植物新品種の開発と海外品種登録の推進及び研究成果の早期創出

く事業の内容>

1. 産学官連携機能の強化のための施設の整備

農研機構の有する知見や設備等を産学官が連携して利 用するため、スマート農業技術及び品種開発に関連する 施設を整備します。

2. 新品種の保護強化のための特性審査の高度化

国内外において品種登録を加速すべき主要な輸出品目 の品種について、国際基準に合致した高度な特性審査を 行うための栽培試験施設を整備します。

3. 研究開発等の基盤となる施設の整備・改修

研究開発や原々種生産業務の基盤となる施設を整備・ 改修するとともに、新たな研究ニーズに対応するための研究 施設を整備します。

<事業の流れ>



(国研) 農業,食品産業技術総合研究機構

(国研) 国際農林水産業研究センター

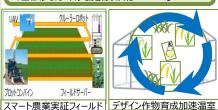
く事業イメージン

新技術開発が求められているスマート農業 及び品種開発に関連する施設整備を実施 スマート農業技術開発関係施設の整備 ・スマート農業実証フィールド ・地域スマート農業開発拠点整備 等

産学官連携機能の強化

品種開発関連施設の整備

・デザイン作物育成加速温室 •遺伝資源研究施設改修



農研機構のほ場・施設等を活用した 産学官連携の取組により技術開発を促進

2. 特性審査の高度化

国際基準に合致した 高度な特性審査が可能な 施設を整備

栽培試験用施設の整備



海外での迅速な品種登録 優良品種の海外流出防止

3. 研究開発等の基盤整備

新たな研究ニーズに対応するための 施設を整備

・基盤施設の整備・改修 ・新たな研究ニーズに対応する 研究施設の整備



(イメージ)

ほか改修整備

研究開発・種苗生産の基盤施設を 整備し研究開発力を最大限発揮

人口減少下においても生産性の高い食料供給体制を確立

農林水産技術会議事務局研究調整課(03-3502-7472) 「お問い合わせ先〕